

令和 2 年 12 月 18 日

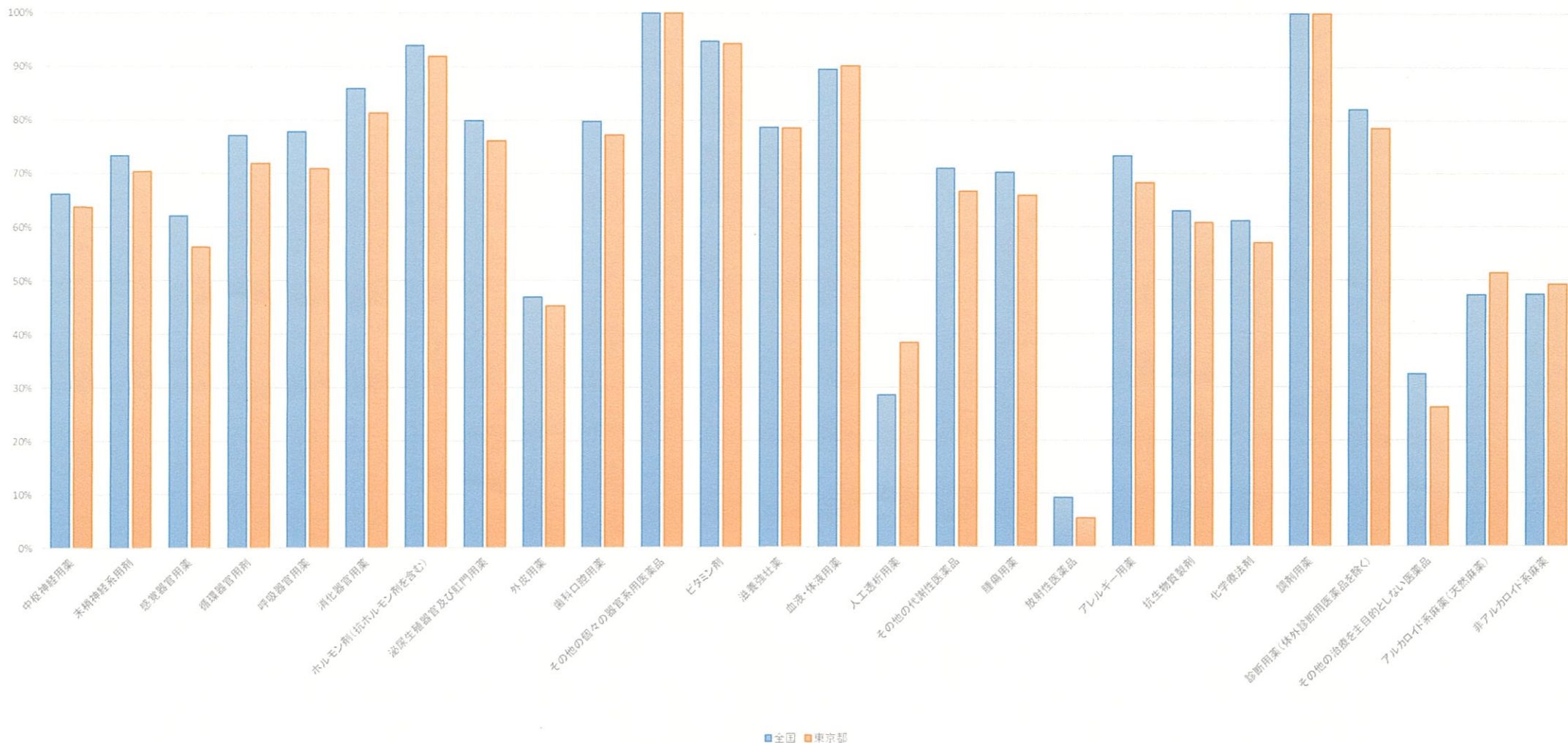
第 2 回東京都保険者協議会
第 2 回特定健診・特定保健指導特別部会

資料 6

医療費適正化計画関係データセットを用いた 後発医薬品使用割合に関する分析

東京都福祉保健局保健政策部国民健康保険課
令和 2 年 1 2 月

薬効別後発医薬品使用割合（東京都全体）



【出典】レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の情報を含む医療費適正化計画関係のデータセット（2018年度診療分）【令和2年3月2日付厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室事務連絡】TK1101_後発医薬品数量割合【総計_総数+都道府県別】2019年3月診療分

薬効別後発医薬品使用割合（二次医療圏別）

	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ
中枢神経用薬	59.5%	62.4%	59.6%	55.8%	65.6%	66.5%	64.9%	70.6%	67.8%	67.8%	62.1%	71.2%	73.4%
末梢神経系用剤	62.3%	70.2%	67.0%	59.4%	72.8%	75.7%	71.1%	75.8%	75.1%	74.5%	71.2%	77.3%	67.7%
感覚器官用薬	48.1%	54.9%	47.5%	45.3%	57.2%	61.6%	61.2%	69.8%	62.9%	63.1%	51.3%	64.5%	51.1%
循環器官用剤	64.9%	72.9%	67.1%	61.2%	73.4%	76.1%	72.5%	79.3%	77.7%	79.1%	70.4%	77.1%	83.8%
呼吸器官用薬	67.9%	66.7%	63.4%	67.0%	68.1%	73.9%	72.0%	77.4%	77.5%	80.5%	70.9%	75.6%	69.7%
消化器官用薬	78.1%	81.4%	77.5%	73.1%	82.6%	83.9%	81.9%	87.1%	85.1%	85.1%	80.4%	86.6%	87.3%
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	85.2%	89.9%	89.5%	86.6%	91.8%	95.1%	95.4%	97.0%	94.7%	96.5%	91.9%	94.5%	84.1%
泌尿生殖器官及び肛門用薬	66.1%	77.3%	76.9%	70.2%	75.6%	76.9%	74.0%	83.6%	83.1%	81.7%	77.4%	83.0%	80.6%
外用用薬	38.9%	44.6%	40.0%	39.0%	45.8%	48.7%	47.8%	51.1%	51.1%	45.3%	46.1%	50.8%	42.6%
歯科口腔用薬	80.8%	77.5%	83.0%	81.2%	81.3%	76.7%	87.2%	87.1%	84.5%	64.8%	62.3%	51.0%	8.0%
その他の個々の器官系用医薬品	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
ビタミン剤	93.8%	94.8%	94.3%	91.7%	94.0%	95.0%	95.0%	96.5%	95.0%	96.6%	94.9%	95.0%	92.5%
滋養強壮薬	78.1%	79.6%	75.1%	70.2%	81.8%	79.1%	75.1%	79.1%	80.3%	83.4%	80.6%	83.9%	76.1%
血液・体液用薬	88.2%	90.5%	90.6%	86.8%	91.0%	90.1%	90.7%	92.6%	91.1%	91.9%	90.6%	91.5%	93.8%
人工透析用薬	28.0%	8.0%	12.4%	27.8%	43.7%	74.1%	38.5%	72.4%	26.3%	65.1%	31.4%	55.0%	0.0%
その他の代謝性医薬品	60.9%	69.3%	66.0%	53.1%	67.1%	68.9%	67.3%	75.1%	72.5%	75.0%	68.7%	74.2%	74.7%
腫瘍用薬	62.5%	69.0%	61.4%	52.6%	71.4%	71.5%	53.9%	80.5%	76.0%	79.5%	71.2%	75.0%	57.2%
放射性医薬品	1.0%	3.3%	0.0%	3.1%	18.4%	2.6%	0.0%	51.7%	40.1%	0.0%	0.0%	10.2%	-
アレルギー用薬	62.8%	65.0%	62.7%	60.8%	67.4%	71.1%	70.9%	73.7%	75.7%	76.6%	67.3%	74.9%	73.6%
抗生物質製剤	59.6%	58.3%	52.8%	54.8%	61.0%	58.8%	65.4%	62.6%	66.4%	68.4%	63.2%	68.2%	43.6%
化学療法剤	57.7%	61.0%	57.6%	42.8%	58.7%	57.5%	61.8%	66.2%	61.2%	63.0%	54.9%	64.5%	85.9%
調剤用薬	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
診断用薬（体外診断用医薬品を除く）	74.6%	83.5%	82.1%	70.5%	87.1%	87.8%	81.5%	41.1%	76.6%	80.6%	60.1%	50.2%	47.4%
その他の治療を主目的としない医薬品	18.0%	28.8%	22.9%	16.1%	24.6%	27.5%	20.5%	34.7%	35.5%	18.2%	43.6%	57.3%	100.0%
アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	59.8%	58.8%	24.9%	41.2%	40.0%	54.4%	18.9%	29.4%	63.7%	25.8%	89.0%	54.3%	8.0%
非アルカロイド系麻薬	60.5%	57.5%	49.4%	36.8%	45.1%	24.8%	35.1%	49.1%	44.9%	60.0%	65.5%	46.0%	0.0%

【出典】レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の情報を含む医療費適正化計画関係のデータセット（2018年度診療分）【令和2年3月2日付厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室事務連絡】TK1102_後発医薬品数量割合【総計_二次医療圏別】2019年3月診療分

薬効別後発医薬品使用割合（保険者種別：全国）

	全国健康保険協会	船員保険	健康保険組合	共済組合	国保組合	市町村国保	後期高齢者
中枢神経用薬	65.6%	67.1%	66.8%	66.5%	62.4%	63.9%	64.3%
末梢神経系用剤	74.6%	78.6%	74.1%	73.7%	71.8%	72.9%	70.5%
感覚器官用薬	65.3%	67.1%	64.6%	65.0%	60.9%	61.2%	58.9%
循環器官用剤	80.4%	83.9%	79.7%	78.9%	76.5%	78.7%	73.5%
呼吸器官用薬	78.7%	80.8%	76.6%	77.6%	75.2%	78.6%	75.9%
消化器官用薬	84.2%	86.8%	82.5%	82.6%	82.1%	85.3%	86.4%
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	93.3%	96.7%	92.4%	91.7%	92.6%	95.3%	94.7%
泌尿生殖器官及び肛門用薬	82.1%	86.0%	81.4%	80.9%	79.5%	82.3%	77.6%
外皮用薬	48.4%	50.3%	48.2%	46.8%	46.5%	47.8%	43.7%
歯科口腔用薬	84.3%	87.5%	85.3%	86.6%	82.2%	77.1%	71.7%
その他の個々の器官系用医薬品	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ビタミン剤	96.8%	97.8%	97.3%	97.1%	96.4%	94.9%	93.0%
滋養強壮薬	79.1%	80.4%	79.6%	79.9%	77.8%	78.1%	77.9%
血液・体液用薬	95.0%	93.4%	96.6%	96.9%	92.8%	89.4%	83.4%
人工透析用薬	25.6%	50.5%	22.9%	19.3%	17.8%	30.2%	30.5%
その他の代謝性医薬品	74.0%	77.2%	73.3%	71.8%	71.0%	72.9%	66.3%
腫瘍用薬	71.9%	75.2%	69.1%	68.7%	67.1%	70.0%	69.7%
放射性医薬品	6.6%	0.0%	10.3%	9.1%	5.2%	7.5%	10.0%
アレルギー用薬	73.8%	74.0%	73.0%	72.9%	70.5%	73.6%	70.8%
抗生物質製剤	62.9%	63.8%	63.0%	63.4%	60.5%	62.4%	62.8%
化学療法剤	63.1%	62.5%	62.5%	62.6%	60.0%	60.6%	57.2%
調剤用薬	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
診断用薬（体外診断用医薬品を除く）	82.3%	76.8%	84.5%	85.3%	81.3%	79.2%	82.8%
その他の治療を主目的としない医薬品	33.7%	38.3%	30.3%	30.1%	34.2%	32.4%	33.0%
アルカロイド系麻薬（天然麻薬）	50.4%	43.2%	48.6%	54.7%	45.0%	48.7%	42.8%
非アルカロイド系麻薬	55.6%	60.5%	58.8%	59.1%	53.1%	48.0%	39.7%

【出典】レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の情報を含む医療費適正化計画関係のデータセット（2018年度診療分）【令和2年3月2日付厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室事務連絡】TK1103_後発医薬品数量割合【総計_保険者種別】2019年3月診療分

後発医薬品数量割合

- ◆対象集計期間
診療年月が平成30年3月に該当するレセプトを集計対象とする。

- ◆帳票の種類・対象レセプト
4種類の集計軸に対し、対象レセプトごとに帳票を作成する。

集計軸	対象レセプト
総計+都道府県	総計(以下全てのレセプト)
二次医療圏	入院(医科入院、DPC)
保険者種類	入院外+調剤(医科入院外、調剤)
保険者	歯科

- ◆対象データ
「◆帳票の種類・対象レセプト」の対象レセプトに格納されている、すべての医薬品を対象とする。
- ◆利用マスタ
・薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について (<https://www.mhlw.go.jp/topics/2018/04/tp20180401-01.html>)
※上記URLはサンプルであり、使用するマスタの期間は、集計対象月の月末の日が含まれているものを使用する。
・NDBの「医薬品マスタ」を利用する。

- ◆都道府県の割り当て
医科入院レセプト、DPCレセプト、医科入院外レセプト、歯科レセプトは医療機関コードの先頭2桁（都道府県コード）、
調剤レセプトは調剤薬局コードの先頭2桁（都道府県コード）

- ◆数量の計算
「数量」は「◆対象レセプト」毎に下記のように算出し、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
・医科入院、DPC、医科入院外、歯科 : 使用量 × 医薬品マスタの薬価 ÷ 「◆利用マスタ」の薬価 × 日数(回数)
・調剤 : 使用量 × 医薬品マスタの薬価 ÷ 「◆利用マスタ」の薬価 × 調剤数量

- ◆薬効ごとの数量の集計

医薬品ごとに「後発医薬品がある先発医薬品」「後発医薬品」を区分けし、数量を算出する。区分けには「◆利用マスタ」を使用する。
薬価基準コード先頭3桁で医薬品を集約し「すべての医薬品」(①)「後発医薬品がある先発医薬品」(②)「後発医薬品」(③)の数量を集計する。

- ◆数量の算出方法

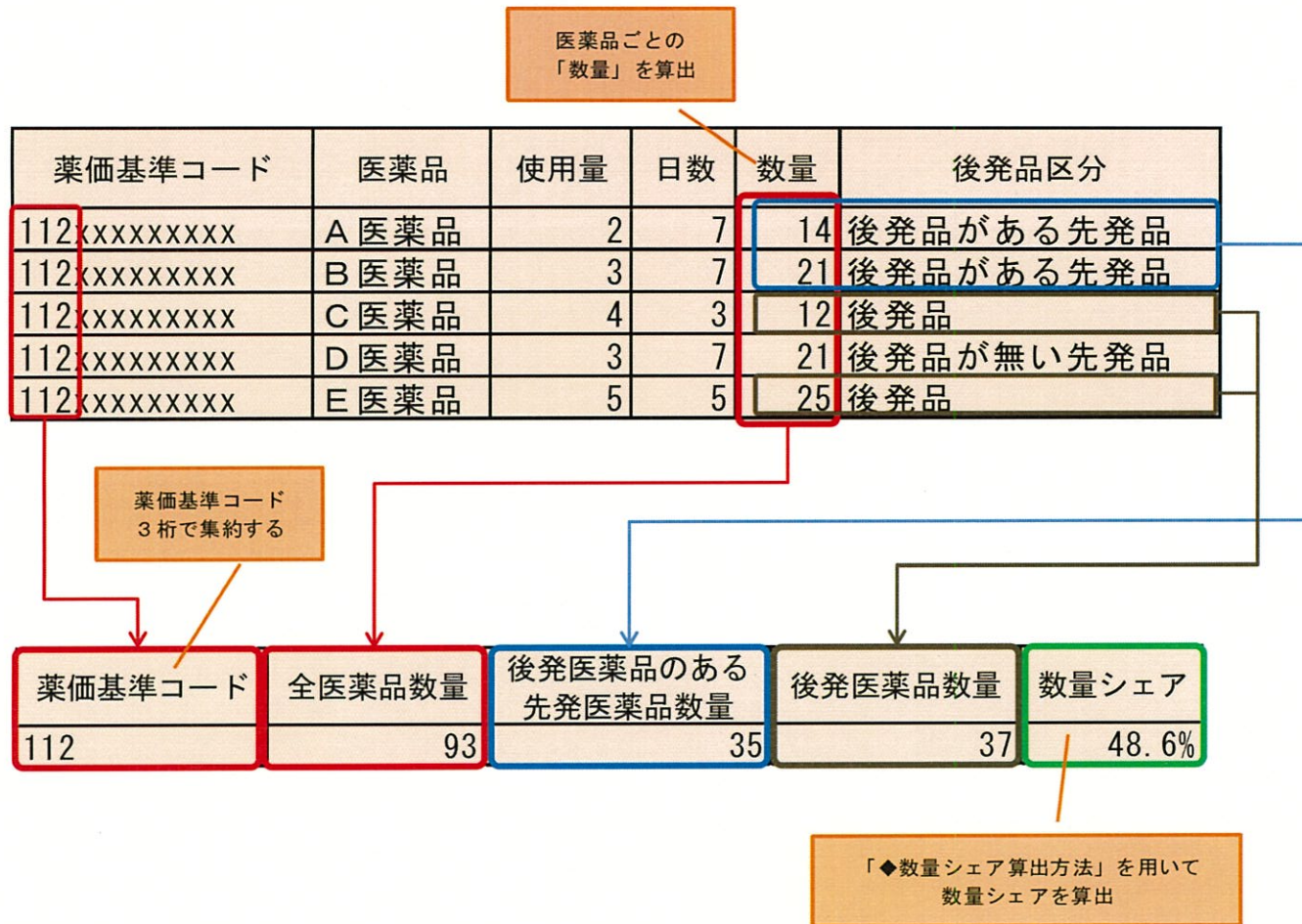
薬価基準コード先頭3桁ごとに集計した数量をもとに、下記の計算式で数量シェアを算出する。

$$\begin{aligned} \text{後発医薬品の数量シェア（置き換え率）} &= \text{後発医薬品の数量} \div (\text{後発医薬品がある先発医薬品の数量} + \text{後発医薬品の数量}) \\ &= \text{【分類3】の数量（★を除く）} \div (\text{【分類2】の数量（☆を除く）} + \text{【分類3】の数量（★を除く）}) \end{aligned}$$

- ◆各先発医薬品における後発医薬品の有無および後発医薬品の分類

- 【分類1】 後発医薬品がない先発医薬品（後発医薬品の上市前の先発医薬品等）
- 【分類2】 後発医薬品がある先発医薬品（先発医薬品と後発医薬品で剤形や規格が同一でない場合を含む。後発品と同額または薬価が低いものは☆を付与）
- 【分類3】 後発医薬品（先発医薬品と同額または薬価が高いものについては★を付与）

◆数量シェア算出例



◆留意事項

- ・年齢不詳は集計対象外とする。
- ・診療を受けた時点から集計を行う時点までの間に、【分類1】が、新たな後発医薬品が発売されて【分類2】に変わり、算出式の分母となる【分類2】が増え、後発医薬品割合が低く算出される場合がある。